電波新聞 2012年10月5日 掲載記事

大電流に対応、低直流抵抗・高効率

材料に磁性金属粉末 チョークコイル

東京コイルエンジニアリング

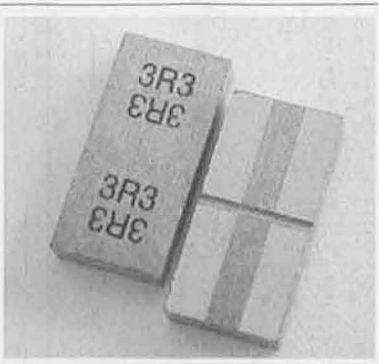
東京コイルエンジニアリングは、磁性金属粉末のチョークコイル「TCMCシリーズ」を開発した。スマートフォンやタブレットPCをはじめとするモバイル機器などに向けて販売を開始した。現在は月間1千万個体制だが、14年1月には同2千万個に引き上げる計画だ。

新製品は磁性金属粉末系シートをプレスし、銅線によるコイルを内蔵し、電極をスパッタリングで形成したもの。

閉磁路構造によって、コア鳴きを抑え、低漏れ磁束を実現。また、大電流対応、低直流抵抗、高効率を特徴としている。

サイズは2・5×2×1㍉、3㍉角で厚みが1・2㍉、1・5㍉を品ぞろえする。

さらに、同シリーズにアレイタイプをラインアップしている。2個を並列および直列に接続し、一つにパッケージ化したもの。異なるインダクタンスの組み合わせが可能であり、様々なアレイ化ニーズに対応できる。



東京コイルエンジニアリングのメタル系チョークコイルアレイ・TCMC6312シリーズ

アレイ化によって、2ラインに対応できるようになるため、実装工数を半減し、しかも実装面積を省スペース化できるため、高密度実装化に寄与する。